

作物の病害虫診断

原因 病害、虫害、生理障害、要素障害 等

症状 萎れる、葉が枯れる、葉が黄化する、生育が悪い 等

このような場合におすすめです!

- 生育不良の原因を知りたい
- 病気かどうか明らかにしたい
- 薬剤散布しているが、なかなか改善しない



イチゴ



キャベツ



セルリー



メロン



トマト



キク



シクラメン



ポインセチア

検体の送付方法 常温便(夏季高温期はクール便)

- 根を含む株全体を2～3株ご送付ください。
- 土壌が茎葉部に付着しないよう、根を湿らせた紙で包んでビニール袋に入れ、更に株全体をビニール袋に入れ密閉してください。
- 具体的な手順は、「病害虫診断 検体の送付方法」をご参照ください。

検査の方法

病原菌の感染や害虫の寄生等を顕微鏡にて調査します。

注意事項

乾燥・枯死した検体は、調査できません。



報告書

- 病原菌の感染や害虫の寄生を調査したうえで、最適な対応策を提案します。
- 検体の受領から結果のご報告まで、7～10日程度かかります。

病害虫調査 参考所見		調査日	調査者
検体名	イチゴ	2024.08.15	山田 太郎
検体採取場所	家庭菜園		
症状	生育不良、葉の萎縮、葉の黄化		
栽培方法	水やりは毎日、肥料は週1回		
防除薬剤	アザラシ、アザミ		
栽培期間	約1ヶ月		
検体の状態	根が腐敗、葉が萎縮		
調査結果	病原菌の感染が確認され、根腐病による生育不良と判断されます。		
対応策	腐敗した根を除去し、新しい土壌に植え替えてください。		
備考			

